

令和5年度第2回区政会議（全体会議）で出された主なご意見と区役所の対応・考え方

番号	意見	当日の回答	区役所の対応・考え方	担当課
全体会議				
1	市岡商業高校跡地でイベントされていますが、この跡地の暫定活用についてどのように考えているのか。	校舎については、耐震性の問題もあり活用は難しいと思いますが、グラウンド（広場）部分については、令和6年度の区の「コミュニティ育成支援事業」の枠組みの中で暫定活用を行っていきます。活用の条件については、万博の機運醸成やまちづくり、社会実験、地域コミュニティづくりといった点で、令和6年度の1年間限定ですが、区に申込の窓口を設けて活用できるように検討を進めているところです。詳細が決まり次第区民の皆さまに公表したいと思っています。 また、万博開催の年（令和7年度）に関しては、万博関係で多方面から声（バス停留など）もあり、活用方法が決まっていません。状況が見えてきましたら形にしてお示ししたいと思っています。	同左	協働まちづくり推進課 （エリア開発推進） （市民活動推進）
2	国道43号線を地下でつないでいるスロープについて、車いすの車幅には狭く、ベビーカーの方からも滑りやすく通りにくいとの声が上がっている。 バリアフリーの推進向けて上空、地上、地下での更なる動線確保に努めるとあるが、改善に向けて考えていることはあれば教えていただきたい。	弁天町駅前交差点の地下道スロープについては、現在北側のエレベーター設置工事中で通行しにくい状況となっており、来年春の完了までこの状況が続く見込みです。スロープの勾配を改善することは物理的に難しいと思いますが、弁天町バリアフリー基本構想の見直しに向け取り組んでいく中で、地域の課題や意見を聞いてまいります。 現在設置中のエレベーターは大型なので、ベビーカーや車いすの方だけでなく、自転車も十分利用可能になると聞いています。区としても、少しでも改善できることはないか今後とも働きかけてまいります。	同左	協働まちづくり推進課 （エリア開発推進）